

自然教育園見ごろ情報

2025年12月11日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://www.ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

イロハモミジの
紅葉が綺麗です



サザンカ

「さざんかの宿」「たきび」の歌でもおなじみの山茶花（さざんか）。日本でしか見ることのできない「日本固有」の植物です。名前の由来は、ツバキの中国名である山茶花と取り違えたためと言われています。



キジョラン(実)

タネの毛を、鬼女の髪に見立てたことが名前の由来です。果実は、緑色で細長い卵形をしています。裂けて、白く長い毛が見えるものがあります。

全域で
みられます



ムラサキシキブ(実)

美しい紫色の実を、源氏物語の作者「紫式部」の名前にたとえ、この名前がついたと言われています。



ヒイラギ

柊（ひいらぎ）の漢字のとおり、冬に花を咲かせます。節分にヒイラギの枝とイワシの頭を戸口に刺し、魔よけに使うことで有名です。



イロハモミジ(紅葉)

「もみじ」の代表です。赤く綺麗に色づいた木が多くなりました。イロハモミジの名前は、子どもたちがこの葉の裂片を「いろはにほへと」と数えたことによります。

水辺で
みられます



ダイサギ

白いサギの仲間では国内最大。繁殖期の始まりのみ、クチバシが黒く、目の付け根が緑になります。ほとんどの時期はクチバシは黄色で足が黒です。



イイギリ(実)

見上げると、葉陰から赤色に色づいた実が見えます。昔この葉で飯を包んだことが名前の由来と言われています。

路傍植物園で
見られます



ムサシアブミ(実)

トウモロコシのような形の赤い実が、ごろっと倒れています。赤くて美味しそうに見えますが、有毒で食べられません。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園